

“Hospitalist”より**“Generalist”**を目指すあなたへ

内科領域を超える**“内科学”**を

洛和会音羽病院総合内科

Generalist宣言

- 医学全般に内科医として取り組みます。
 - 「内科全般を臓器横断的に」を越えて「医学全般を包括的に」を目指します。
- “病める人”の生活に、孤独, 老い, 終末に寄り添います。
 - 多職種で連携して、病院外にも<全人的医療>を展開します。
- 他科と協働し問題の解決に努めます。
 - 文献に基づいた知識を基に専門家と議論を重ね、最適解を導き出します。
- 医療を通じて地域に、日本に貢献します。
 - 京都に、日本にGeneralistを根付かせます。

Generalistを育む6つの特徴

- 聖地・舞鶴市民病院から受け継ぐ「教え合って育つ」文化
- 「病歴, 身体所見から正診に至る」系統的な症候学・診断学
- 豊富な症例で実践する〈標準医療〉
- 「米国流されど音羽流」を伝承する臨床感染症
- “Creating a Better World”
- 「職場に、京都があってよかった」

聖地・舞鶴市民病院から受け継ぐ

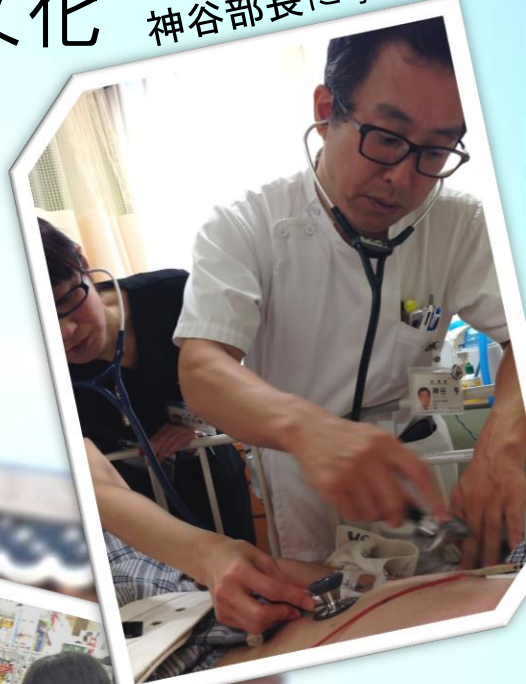
「教え合って育つ」文化

神谷部長に学ぶ！

大リーガー医に学ぶ！

バイオニア
“臨床教育の先駆者”
松村総長が培った
教育の伝統・文化

毎朝の回診で、
毎夕の振り返りで、
先輩に、後輩に学ぶ！



「病歴, 身体所見から正診に至る」

系統的な症候学・診断学

上田剛士先生率いる丸太町病院と真剣バトル!
毎月第2木曜日はおとまるカンファ!!



“神業”を直接伝授!



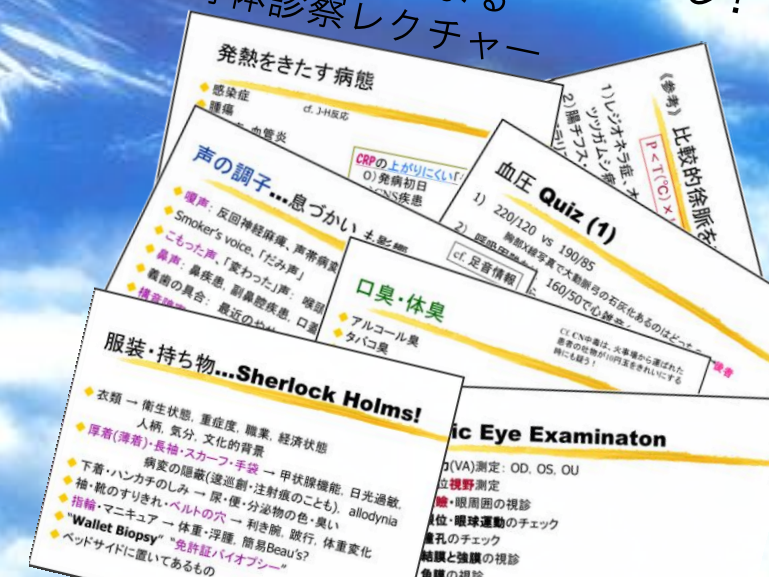
ベッドサイド
“臨床の名探偵”・酒見副院長に磨き抜かれた臨床推論を授かる。
毎日がプチ京都GIM!



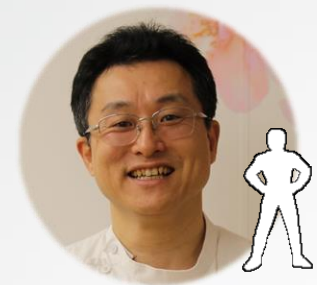
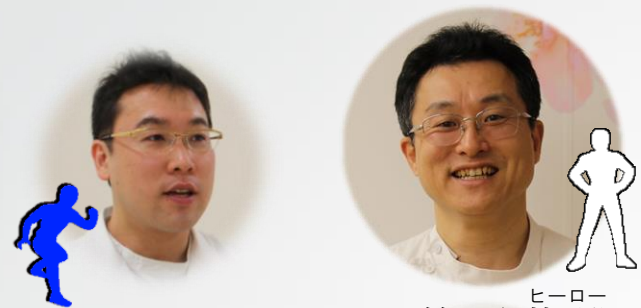
書籍だけじゃない。
ナマの臨床推論が
ここにはある。

全国から挑戦者を迎え撃つ。
ここが“日本の最高峰”だ!
京都GIMは毎月第1金曜日に当院で開催!!

偉才、炸裂! 知識、むきだし!
酒見副院長による
身体診察レクチャー



「米国流されど音羽流」を伝承する臨床感染症



ヒーロー
“我等が英雄”
不易流行
「米国流をドグマにしない」



“バイオ戦隊”の個性が
<多声的診療>を可能にする。



悩みは検査室に聞け!
臨床と基礎とを架橋せよ!!

多種多様! 感染症レクチャー

深刻感受性率

検索条件
薬剤・感受性(SIR)ごとに症例数もしくは検体数を集計しグラフ表示します。
検索条件を指定して「実行」ボタンをクリックしてください。

期間 (採取日) 2016年 8月 14日 ~ 2016年 9月 14日

所属 入院・外来 (指定なし) 診療科 (指定なし) 病棟 (指定なし) ※複数項目を選択する場合は、[Ctrl]キーを押しながら選択し、一定範囲を選択する場合は、[Shift]キーを押しながら選択してください。

材料 (検体) 材料種別 (指定なし) 材料 (指定なし)

対象菌 同定菌 (指定なし) AND(かつ) 菌性 菌性株を含む

件数集計単位 症例数で集計 検体数で集計

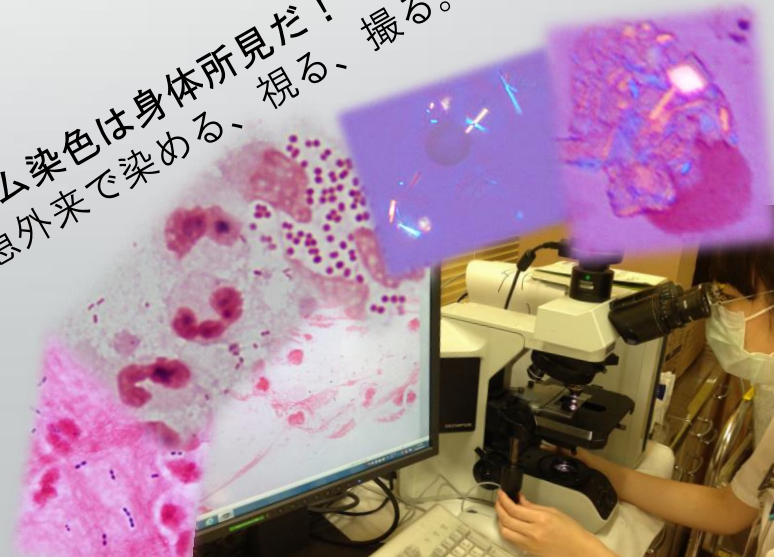
結果最小値 症例数・検体数以上で表示

グラフ選択 棒グラフ レーダーチャート

実行

電子カルテで
アンチバイオグラムは常にUp-To-Date!

グラム染色は身体所見だ!
救急外来で染める、見る、撮る。



“Creating a Better World”



院外研修は国境も越えて。

死生観の多様性も学ぶ。



リーダー

“我等が先導”

苟日新 日日新 又日新

「人や世に自分を役立てる」

音羽から世界に。
質的に量的に臨床研究を。

人格の涵養も、ともに。

音羽から日本に。
J Hospitalist Networkにも寄稿。

京都大学大学院医学研究科から
左：錦織 宏先生（舞鶴市民病院で研修！）
右：廣江貴則先生

「職場に、京都があつてよかった」

古刹、名刹、古都・京都。

琵琶湖、すぐそこ！



おいしいとは、罪である。

まとめるとー

当院は由緒正しい研修プログラムで、互いに教え合って学び合う文化が定着しています。診断学を重んじ感染症に通じるだけでなく、人格の涵養や死生観にも目を向け、包括的な医療を提供する**“Generalist”**を育成します。また、定期的に米国から医師を招聘し、臨床留学も支援します。

京都の奥深い文化と滋賀の雄大な自然とに囲まれ、大阪は電車1本で30分と抜群の立地にあります。

米国流を偏重しない、地に足のついた“大人”の内科学を一緒に実践しませんか？